



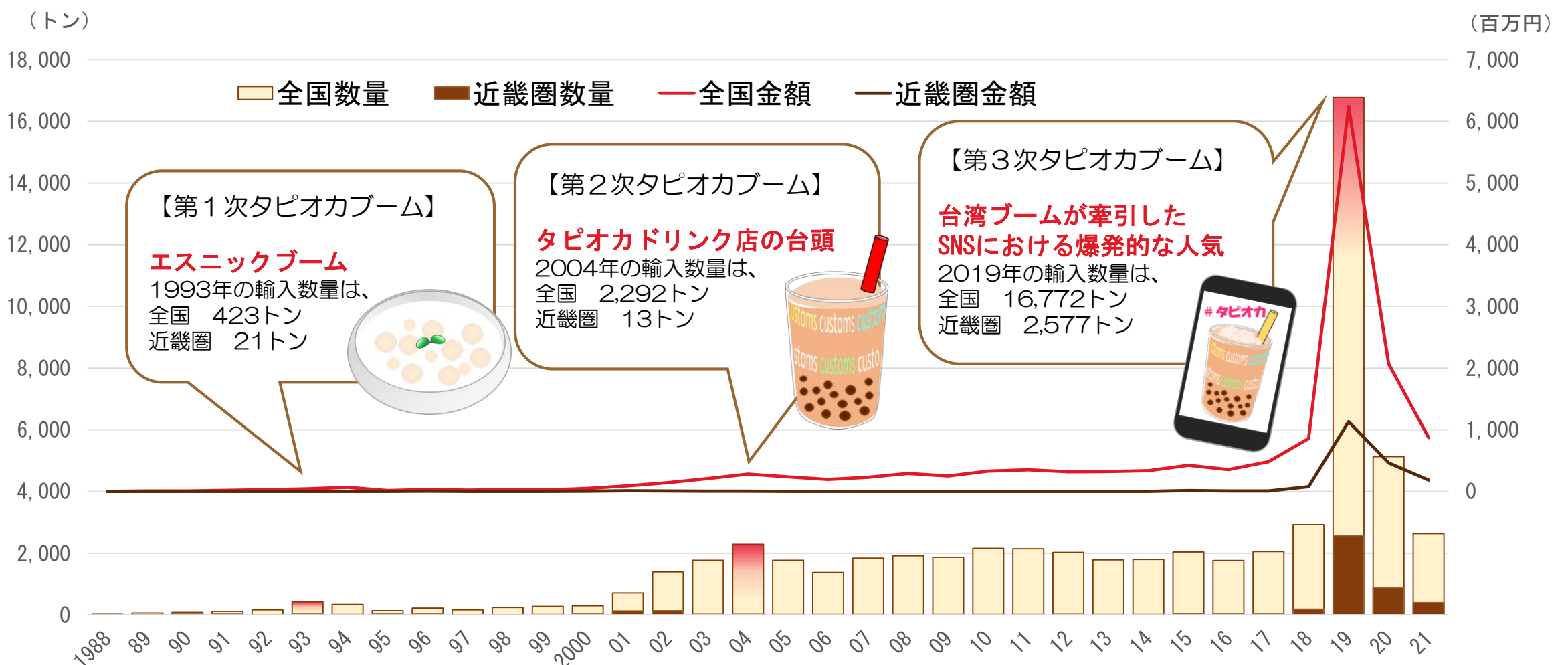
タピオカの輸入 その後

- タピオカの輸入数量・金額は2019年が過去最高
- ブームを経て、タピオカは定番化の傾向

少し前に一大ブームを巻き起こしたタピオカを覚えていますか？
街中ではタピオカドリンク店の前に連日行列ができる様子がメディア等でも注目され、「タピ
る」という言葉が2019年流行語大賞のトップテン入りを果たすなど、一躍社会現象となりました。
大阪税関では2019年に2回「タピオカの輸入」として特集記事を掲載し、輸入においてもブームの影
響に伴う急増が見られることをお伝えしていました。しかし、新型コロナウイルスの発生によりわ
たしたちの生活環境は一変。落ち着きを見せているように思えるタピオカは今どうなっているのか、
もう一度その動向について注目してみたいと思います。

1. タピオカブームの到来と輸入推移

全国・近畿圏 輸入 年別推移



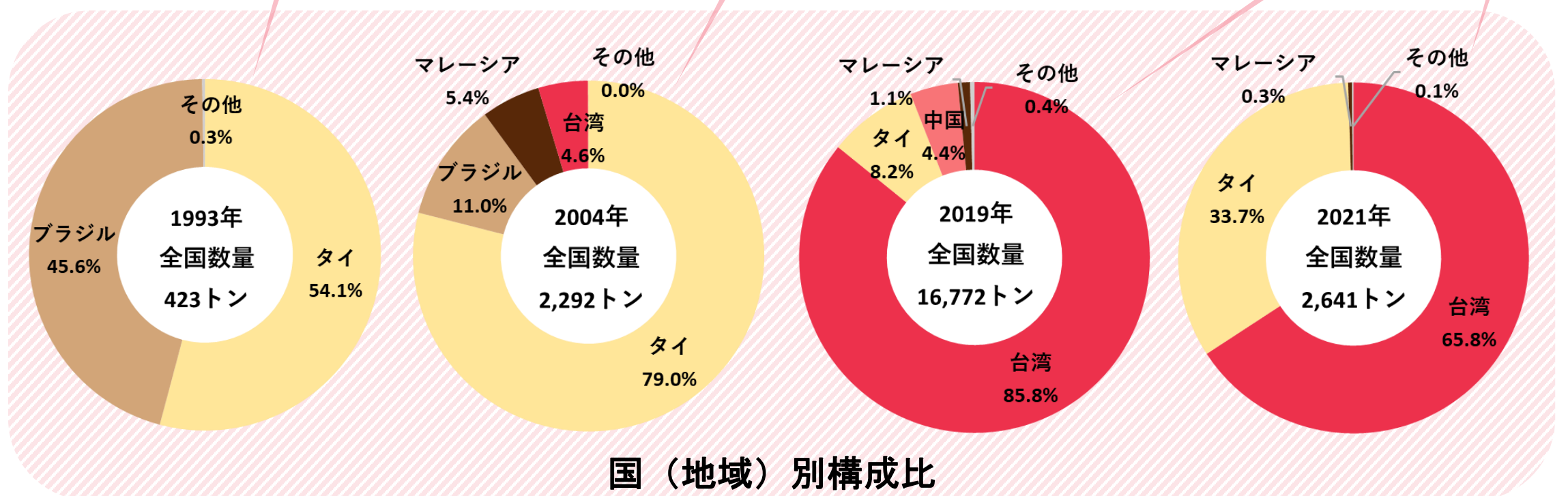
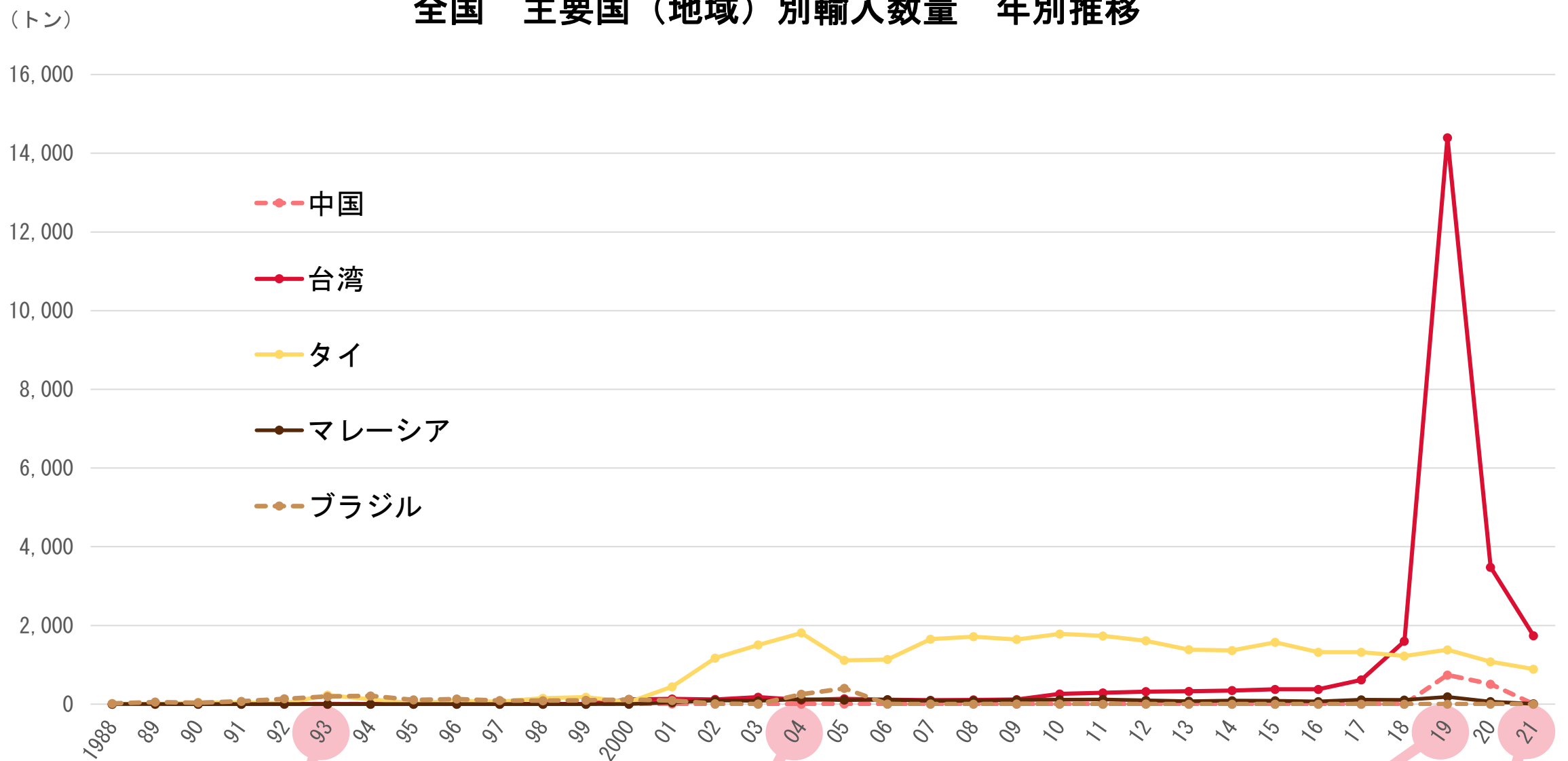
※ブーム時期及び要因については諸説あり

2019年頃のタピオカブームは日本において3回目のブームだと言われています。2019年のタピオカの輸入数量は全国が**16,772トン**（前年比5.7倍）、近畿圏が**2,577トン**（前年比14.2倍）となり、全国・近畿圏ともに過去最高を記録しました。その後2020年は全国が5,133トン（前年比30.6%）、近畿圏が883トン（前年比34.3%）、さらに2021年は全国が**2,641トン**（前年比51.4%）、近畿圏が**396トン**（前年比44.9%）と減少しました。

また、1988年以降ブームの度に輸入数量が増えている様子がグラフから見られますが、第1次、第2次と比べると第3次タピオカブームでは特に大きく増加した事が分かります。第3次タピオカブームでは新たにオープンするタピオカドリンク専門店が多かっただけでなく、ファーストフード等の飲食チェーン店やカラオケ、映画館等あらゆる業界において、タピオカドリンクをメニューとして取り扱うようになったため、国内需要が急増したと考えられます。

2. 国（地域）別の動向

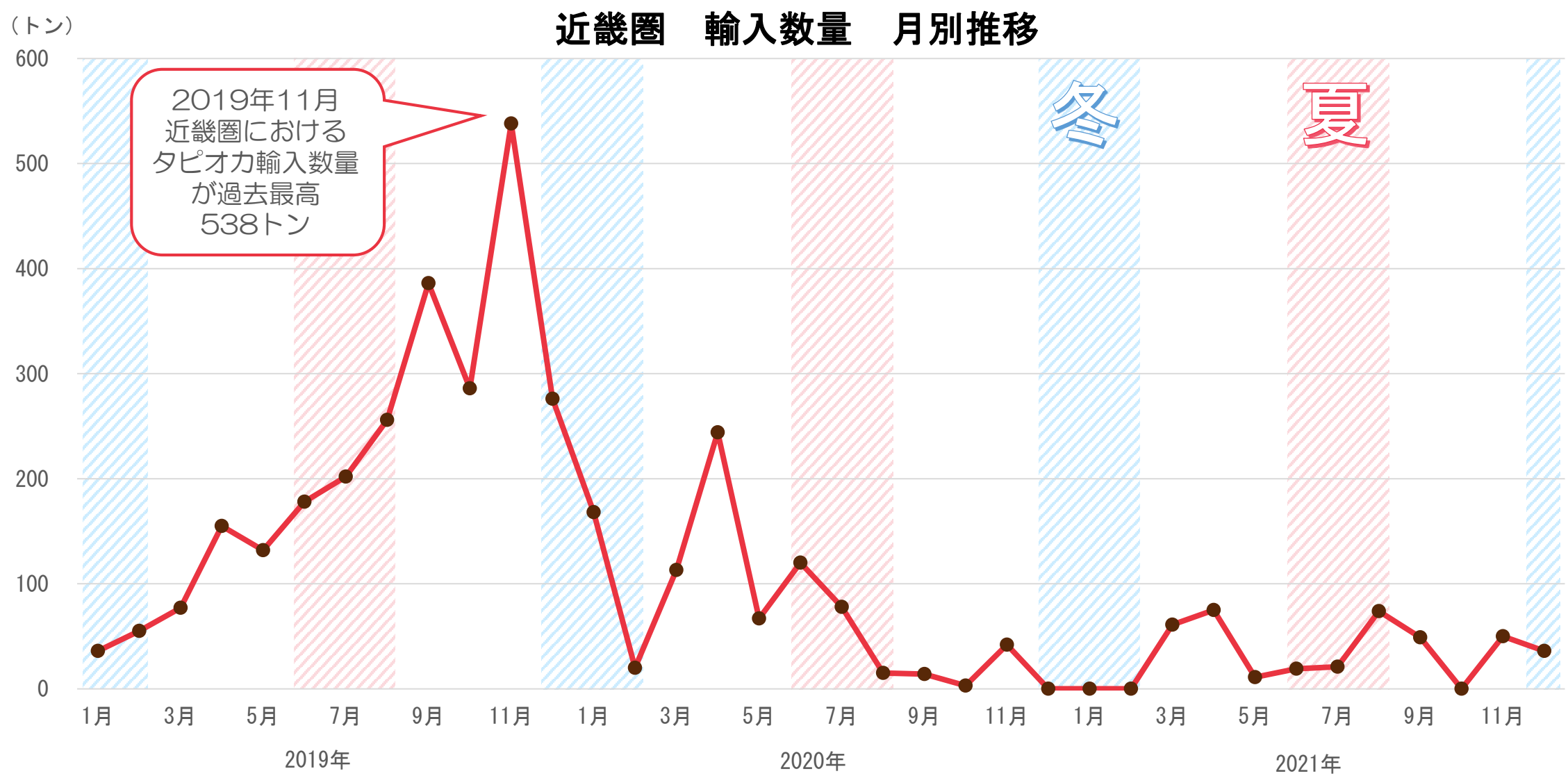
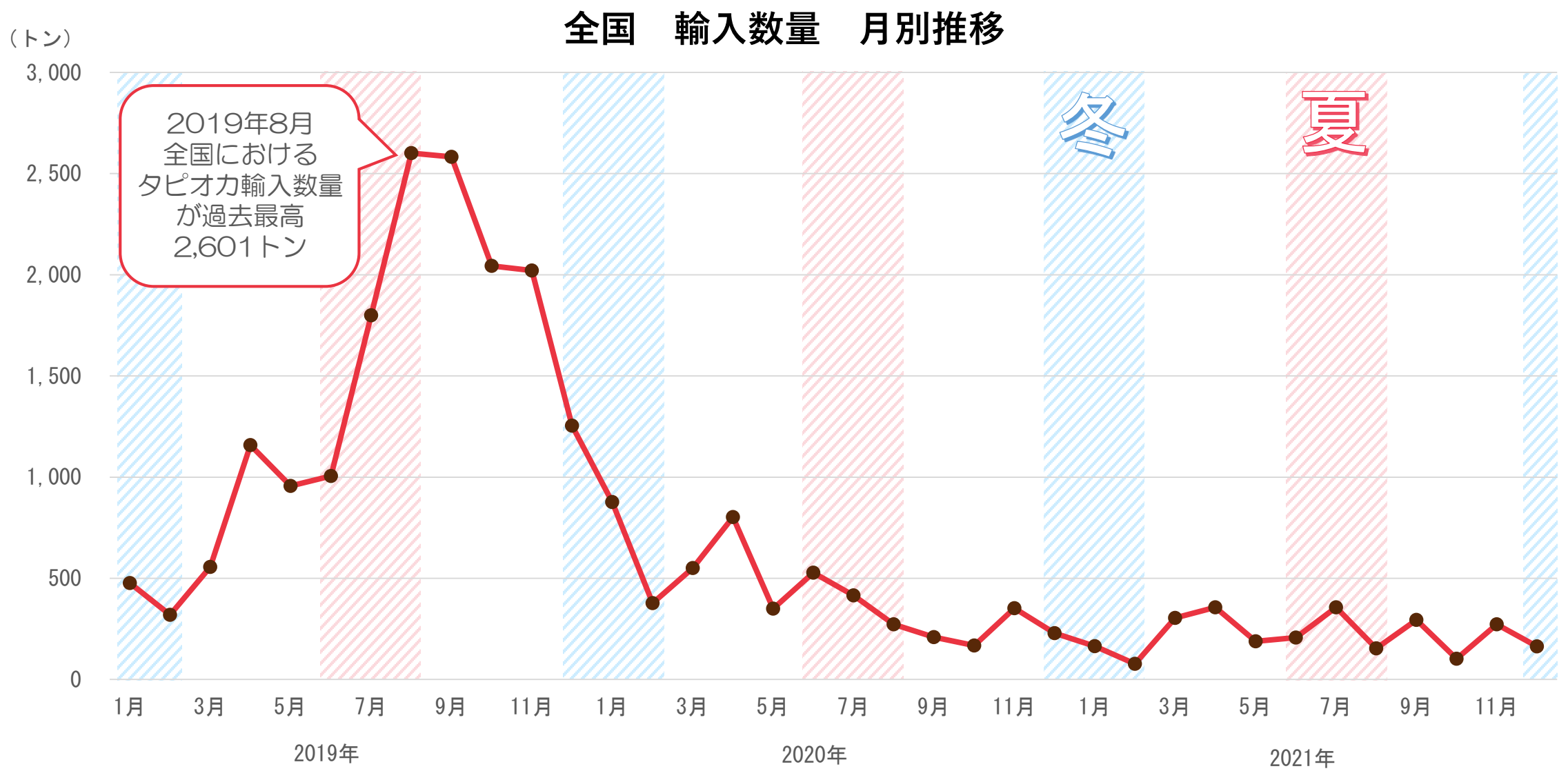
全国 主要国（地域）別輸入数量 年別推移



全国における主要国（地域）別の輸入数量推移を見ると、2001年から2017年まではタイからの輸入が首位となっていました。2018年には台湾がタイを追い抜いて首位となり、2019年には台湾からの輸入数量が14,394トンとなりました。業界によると、第3次タピオカブームの火付け役が台湾発祥のタピオカミルクティーであり、本場の味や触感が求められた結果、需要が増加したとのことです。

続いて国（地域）別構成比について、ブームによる増加傾向が見られた1993年、2004年及び2019年、さらに直近の2021年を見てみます。1993年はタイとブラジルの2国がシェアのほとんどを占めていましたが、2001年頃からタイからの輸入が増えてきたことによりタイのシェアが徐々に拡大し、2004年には8割に迫るほどになりました。2019年には台湾からの輸入が大きく増加したことにより、首位が逆転し台湾が8割以上のシェアを占めることとなりましたが、2021年には台湾からの輸入数量は大きく減少し、シェアも7割を切る程度にまで縮小しました。

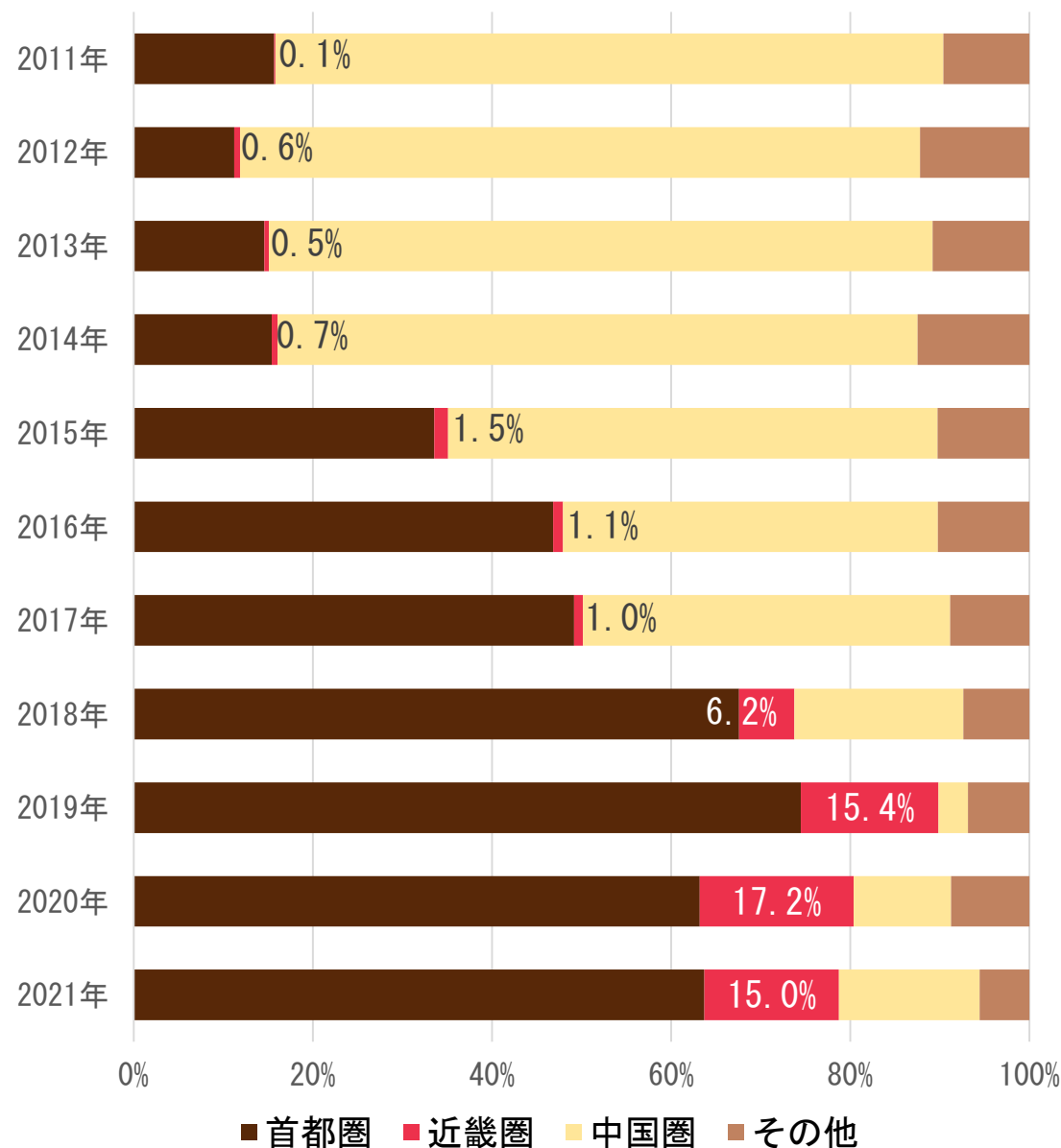
3. 直近の輸入動向



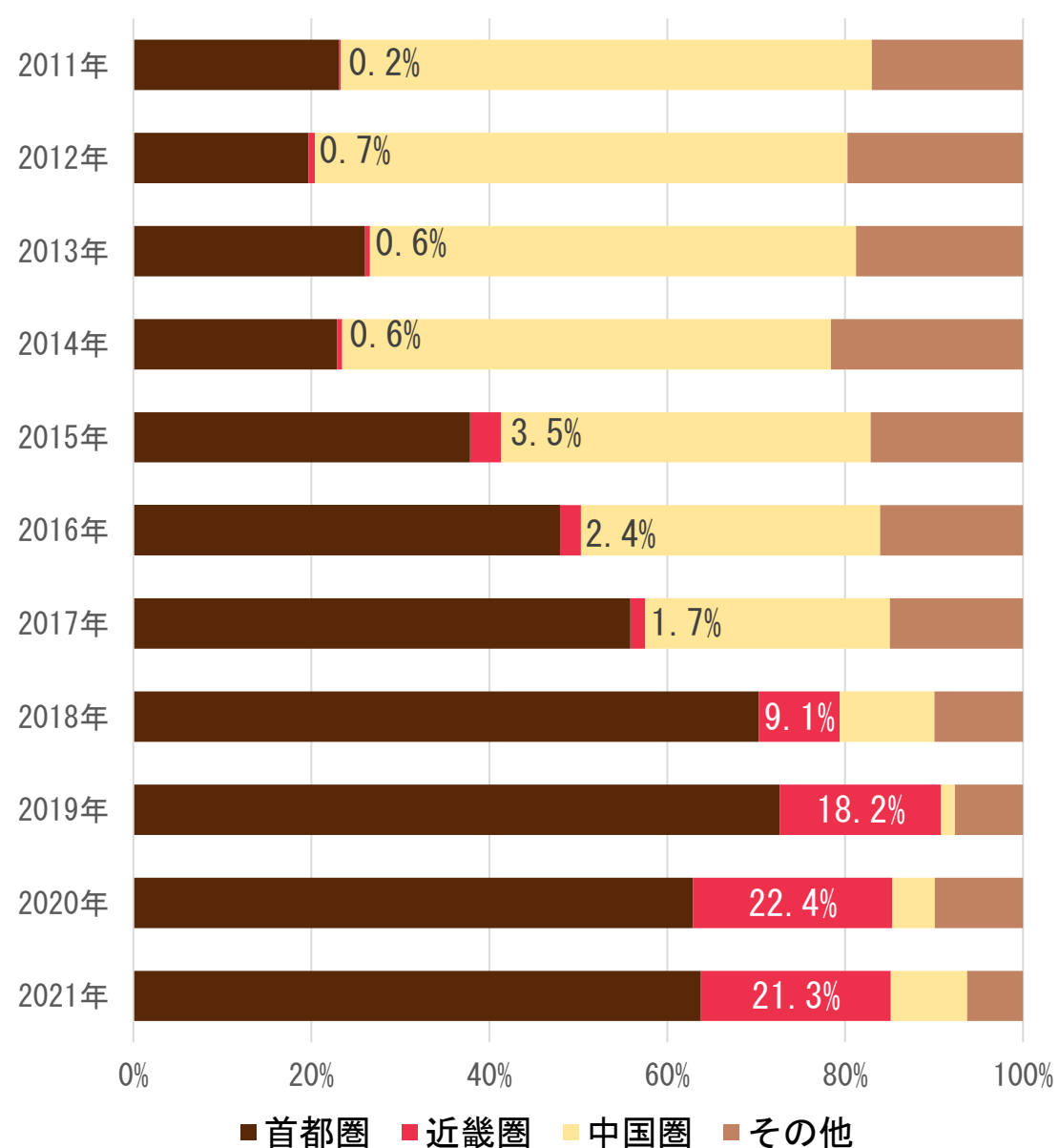
次に、全国と近畿圏におけるタピオカ輸入数量の推移を月別に見てみます。全国では**2019年8月**に、近畿圏では**2019年11月**に過去最高を記録しましたが、2019年12月から2020年2月にかけて大幅に減少しました。業界によると、ブームによって急激に火が付いたタピオカドリンクの需要が落ち着いたこと、さらに冬場はドリンク需要が減少する傾向にあることがその要因として挙げられるようです。

4. 近畿圏とタピオカ

経済圏別輸入数量 構成比



経済圏別輸入金額 構成比



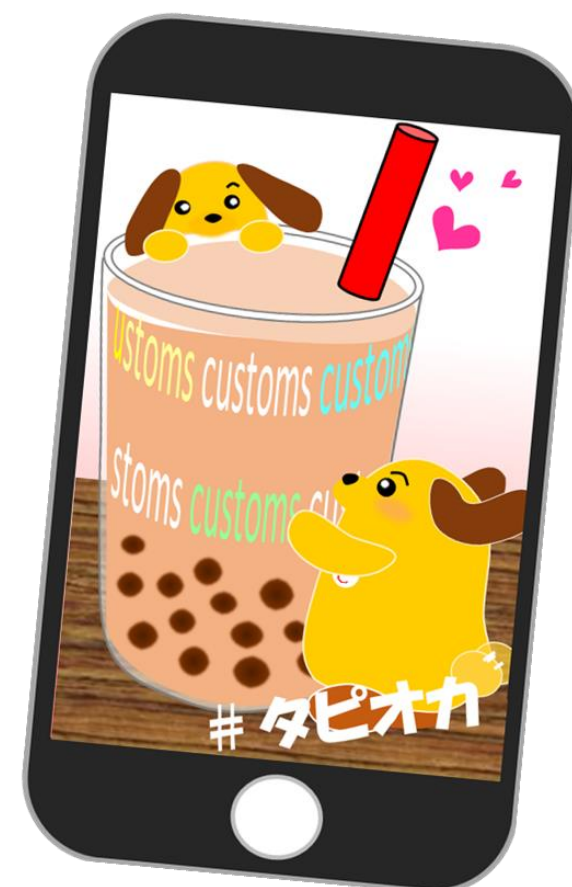
続いて、タピオカの輸入数量及び輸入金額を経済圏別に比較します。11年前の2011年における近畿圏の割合は輸入数量が0.1%、輸入金額が0.2%であったところ、どちらも2018年からその幅が少しずつ大きくなり始め、全国と近畿圏で過去最高を記録した2019年は輸入数量が15.4%、輸入金額が18.2%となり、その後も同程度の割合で推移し続けています。業界によると、近畿圏が首都圏と並んでタピオカの主要消費地と認識されてきたことから、消費地に近い近畿圏の港が利用される機会が増えたとのことです。

5. おわりに

改めてタピオカに注目してみていかがだったでしょうか。タピオカはこれまでもブームに伴って輸入が増加する傾向にありましたが、直近のタピオカドリンクブームは特に勢いがよかったことが貿易統計からも見ることができました。

なお業界によると、ブーム中と比べると減少しているものの継続して一定の需要があり定番化しつつあることから、今後も新しい味の開発やクオリティの向上を図っていくとのことであり、今後タピオカが文化として日本に定着していくことが期待されます。ちなみに世界的に見ると、タピオカの原料となるタピオカでん粉は食べ物としてだけでなく工業用やバイオ燃料としても広く活躍しているようです。

定期的に流行の中心に現れるタピオカ。次のブームはいつやってくるのでしょうか。もしかすると次はまた異なる形でブームが巻き起こるかもしれません。



(参考) 計表データ

単位 数量：トン、金額：百万円

全国 輸入 年別推移

年	数量	前年比	金額	前年比
1988	19	-	2	-
1989	55	296.8%	9	400.3%
1990	78	140.9%	10	104.4%
1991	116	149.8%	19	193.8%
1992	164	140.8%	28	144.3%
1993	423	258.7%	43	155.1%
1994	337	79.5%	68	159.1%
1995	134	39.8%	16	22.8%
1996	219	163.6%	33	212.1%
1997	159	72.6%	23	70.2%
1998	239	150.1%	29	127.4%
1999	276	115.5%	26	87.5%
2000	295	106.8%	51	196.8%
2001	709	240.8%	91	179.7%
2002	1,399	197.2%	145	159.0%
2003	1,769	126.5%	211	145.7%
2004	2,292	129.6%	284	134.5%
2005	1,771	77.3%	237	83.4%
2006	1,378	77.8%	197	83.0%
2007	1,841	133.7%	232	117.9%
2008	1,916	104.1%	291	125.6%
2009	1,869	97.5%	250	86.0%
2010	2,159	115.6%	331	132.0%
2011	2,143	99.3%	354	107.0%
2012	2,029	94.6%	322	90.9%
2013	1,788	88.2%	323	100.5%
2014	1,801	100.7%	338	104.6%
2015	2,042	113.4%	424	125.4%
2016	1,768	86.6%	357	84.2%
2017	2,053	116.1%	483	135.2%
2018	2,928	142.6%	858	177.9%
2019	16,772	572.8%	6,240	727.0%
2020	5,133	30.6%	2,069	33.2%
2021	2,641	51.4%	871	42.1%

近畿圏 輸入 年別推移

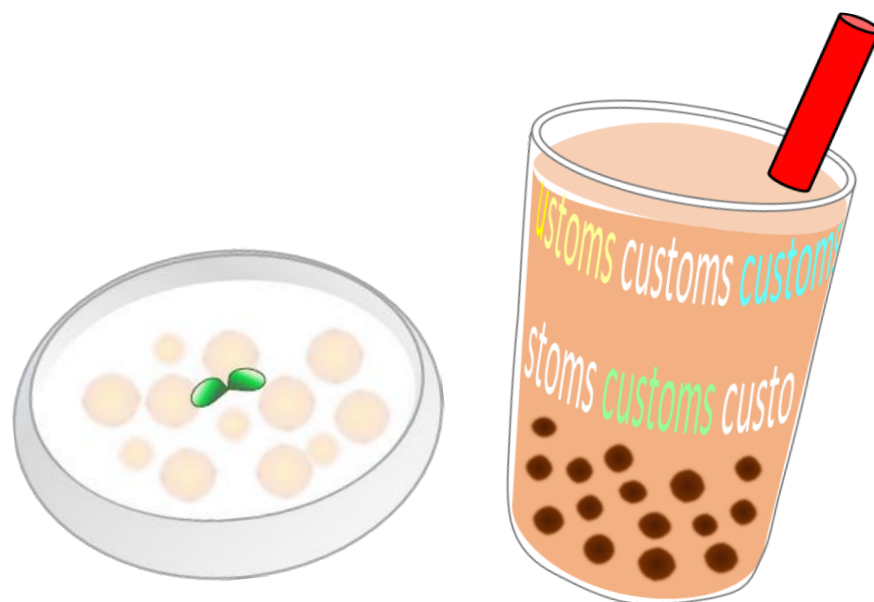
年	数量	前年比	金額	前年比
1988	-	-	-	-
1989	-	-	-	-
1990	20	全増	1	全増
1991	22	110.5%	2	141.9%
1992	-	全減	-	全減
1993	21	全増	2	全増
1994	2	10.9%	0	13.2%
1995	21	940.5%	3	907.7%
1996	23	110.2%	4	164.2%
1997	-	全減	-	全減
1998	-	-	-	-
1999	5	全増	1	全増
2000	20	420.9%	3	514.7%
2001	130	643.7%	13	380.1%
2002	133	102.4%	10	78.9%
2003	18	13.2%	6	58.5%
2004	13	75.8%	3	57.2%
2005	11	81.2%	2	46.6%
2006	10	96.3%	2	127.1%
2007	5	51.5%	1	48.1%
2008	11	210.7%	2	241.0%
2009	7	63.4%	1	56.7%
2010	12	169.5%	2	157.1%
2011	3	25.2%	1	34.4%
2012	13	420.7%	2	334.5%
2013	9	71.3%	2	76.3%
2014	12	129.4%	2	109.7%
2015	31	262.5%	15	748.4%
2016	19	62.0%	8	57.5%
2017	20	102.7%	8	96.5%
2018	181	911.5%	78	957.0%
2019	2,577	1423.4%	1,133	1452.3%
2020	883	34.3%	463	40.8%
2021	396	44.9%	186	40.2%

- ・輸入統計品目番号1903.00-000を集計（タピオカ及びでん粉から製造したタピオカ代用物（フレーク状、粒状、真珠形、ふるいかす状その他これらに類する形状のものに限る。））
- ・2021年分は確々報値、2020年以前は確定値
- ・近畿圏は大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県
首都圏は東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨の1都7県
中国圏は鳥取、島根、岡山、広島の4県
- ・価格はCIF価格で集計
- ・過去最高は1988年1月以降のデータを比較したもの
- ・表示単位未満は四捨五入、「0」は単位に満たないもの、「-」は実績なしのもの

※本資料を他に転載するときは大阪税関の資料に基づく旨を必ず注記してください。
※本資料に関するお問い合わせ先：大阪税関 調査部 調査統計課（電話 06-6966-5385）

全国 主要国（地域）別輸入数量 年別推移

年	中国		台湾		タイ		マレーシア		ブラジル		その他	
	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比	数量	構成比
1988	-	-	-	-	-	-	-	-	18	97.1%	1	2.9%
1989	-	-	-	-	-	-	-	-	54	98.0%	1	2.0%
1990	-	-	-	-	41	52.9%	-	-	36	46.4%	1	0.7%
1991	-	-	-	-	42	35.8%	1	1.2%	72	62.0%	1	0.9%
1992	-	-	-	-	23	14.1%	3	1.8%	136	83.2%	2	0.9%
1993	-	-	-	-	229	54.1%	-	-	193	45.6%	1	0.3%
1994	-	-	1	0.2%	121	36.0%	-	-	212	62.9%	3	0.9%
1995	-	-	-	-	23	17.4%	-	-	110	82.1%	1	0.5%
1996	-	-	-	-	87	39.8%	-	-	132	60.2%	-	-
1997	-	-	-	-	65	41.0%	-	-	93	58.6%	1	0.4%
1998	-	-	-	-	150	62.7%	-	-	89	37.1%	1	0.3%
1999	-	-	-	-	177	64.1%	-	-	97	35.2%	2	0.6%
2000	-	-	118	40.2%	55	18.5%	-	-	120	40.6%	2	0.7%
2001	3	0.4%	133	18.7%	443	62.4%	39	5.5%	91	12.9%	1	0.1%
2002	1	0.1%	119	8.5%	1,171	83.8%	94	6.7%	13	0.9%	0	0.0%
2003	-	-	176	10.0%	1,504	85.0%	84	4.7%	4	0.2%	0	0.0%
2004	1	0.0%	105	4.6%	1,810	79.0%	125	5.4%	251	11.0%	0	0.0%
2005	5	0.3%	137	7.7%	1,115	62.9%	103	5.8%	400	22.6%	11	0.6%
2006	-	-	112	8.1%	1,137	82.5%	113	8.2%	4	0.3%	11	0.8%
2007	1	0.1%	100	5.4%	1,651	89.7%	85	4.6%	4	0.2%	-	-
2008	5	0.2%	109	5.7%	1,714	89.4%	87	4.6%	1	0.1%	-	-
2009	-	-	116	6.2%	1,642	87.9%	105	5.6%	5	0.3%	-	-
2010	-	-	261	12.1%	1,783	82.6%	112	5.2%	3	0.1%	-	-
2011	-	-	288	13.4%	1,735	81.0%	120	5.6%	-	-	-	-
2012	-	-	319	15.7%	1,609	79.3%	96	4.7%	5	0.2%	-	-
2013	-	-	326	18.2%	1,385	77.4%	76	4.3%	2	0.1%	-	-
2014	-	-	345	19.2%	1,366	75.8%	88	4.9%	2	0.1%	0	0.0%
2015	-	-	376	18.4%	1,572	77.0%	86	4.2%	2	0.1%	5	0.3%
2016	-	-	377	21.3%	1,321	74.7%	68	3.9%	-	-	1	0.1%
2017	-	-	617	30.1%	1,320	64.3%	112	5.4%	-	-	4	0.2%
2018	-	-	1,598	54.6%	1,224	41.8%	105	3.6%	-	-	1	0.0%
2019	741	4.4%	14,394	85.8%	1,382	8.2%	187	1.1%	-	-	67	0.4%
2020	508	9.9%	3,478	67.8%	1,078	21.0%	65	1.3%	-	-	3	0.1%
2021	-	-	1,738	65.8%	890	33.7%	9	0.3%	-	-	4	0.1%



全国 輸入 月別推移

年	月	数量	前年同月比	金額	前年同月比
2019	1	476	334.1%	150	447.7%
	2	319	190.2%	106	247.7%
	3	556	299.1%	201	480.0%
	4	1,158	536.4%	417	795.4%
	5	956	539.4%	324	705.0%
	6	1,006	678.0%	345	657.3%
	7	1,799	519.2%	578	591.9%
	8	2,601	890.9%	853	1019.3%
	9	2,583	1100.5%	934	1259.0%
	10	2,044	770.3%	859	1011.7%
	11	2,021	613.5%	921	855.9%
	12	1,254	296.6%	551	390.9%
2020	1	877	184.5%	359	238.7%
	2	377	118.2%	136	127.8%
	3	551	99.1%	244	121.0%
	4	803	69.4%	372	89.1%
	5	350	36.6%	148	45.8%
	6	528	52.5%	244	70.7%
	7	415	23.1%	171	29.5%
	8	273	10.5%	90	10.6%
	9	209	8.1%	57	6.1%
	10	168	8.2%	52	6.0%
	11	352	17.4%	123	13.4%
	12	229	18.3%	74	13.4%
2021	1	164	18.7%	43	12.0%
	2	77	20.5%	29	21.6%
	3	304	55.2%	103	42.4%
	4	357	44.5%	121	32.6%
	5	188	53.6%	67	45.5%
	6	207	39.2%	56	22.9%
	7	357	86.0%	124	72.6%
	8	154	56.6%	46	51.4%
	9	294	140.9%	99	172.1%
	10	102	60.7%	35	67.5%
	11	272	77.3%	97	78.2%
	12	163	71.1%	51	68.7%

近畿圏 輸入 月別推移

年	月	数量	前年同月比	金額	前年同月比
2019	1	36	243.2%	16	233.0%
	2	55	628.0%	24	700.6%
	3	77	全増	34	全増
	4	155	8967.5%	72	10756.7%
	5	132	2940.0%	56	6157.6%
	6	178	全増	71	全増
	7	202	800.0%	67	615.7%
	8	256	2926.3%	102	2764.6%
	9	386	1535.1%	153	1410.8%
	10	286	1429.2%	137	1622.8%
	11	538	1674.8%	267	1779.1%
	12	276	687.2%	134	780.1%
2020	1	168	470.2%	83	520.7%
	2	20	35.6%	9	37.6%
	3	113	146.2%	57	168.8%
	4	244	157.2%	143	199.9%
	5	67	50.4%	33	58.9%
	6	120	67.8%	72	101.5%
	7	78	38.7%	32	47.4%
	8	15	5.7%	7	7.2%
	9	14	3.7%	5	3.5%
	10	3	1.0%	1	0.7%
	11	42	7.9%	20	7.4%
	12	-	全減	-	全減
2021	1	-	全減	-	全減
	2	-	全減	-	全減
	3	61	54.3%	30	52.6%
	4	75	30.6%	35	24.8%
	5	11	16.1%	5	14.1%
	6	19	15.9%	9	12.6%
	7	21	26.8%	11	35.0%
	8	74	508.2%	30	414.2%
	9	49	345.7%	22	405.4%
	10	-	全減	-	全減
	11	50	118.2%	27	139.1%
	12	36	全増	16	全増

経済圏別輸入構成比

年	首都圏				近畿圏				中国圏				その他			
	数量	構成比	金額	構成比	数量	構成比	金額	構成比	数量	構成比	金額	構成比	数量	構成比	金額	構成比
2011	336	15.7%	82	23.1%	3	0.1%	1	0.2%	1,599	74.6%	211	59.7%	206	9.6%	60	17.0%
2012	228	11.2%	63	19.7%	13	0.6%	2	0.7%	1,541	75.9%	193	59.9%	248	12.2%	63	19.7%
2013	261	14.6%	84	26.1%	9	0.5%	2	0.6%	1,325	74.1%	177	54.6%	193	10.8%	61	18.8%
2014	277	15.4%	77	22.9%	12	0.7%	2	0.6%	1,287	71.5%	186	54.9%	225	12.5%	73	21.6%
2015	685	33.6%	160	37.8%	31	1.5%	15	3.5%	1,116	54.7%	176	41.5%	209	10.2%	73	17.1%
2016	828	46.8%	171	47.9%	19	1.1%	8	2.4%	740	41.9%	120	33.6%	181	10.2%	57	16.1%
2017	1,010	49.2%	270	55.9%	20	1.0%	8	1.7%	842	41.0%	133	27.5%	181	8.8%	72	15.0%
2018	1,979	67.6%	603	70.3%	181	6.2%	78	9.1%	553	18.9%	91	10.6%	215	7.4%	85	10.0%
2019	12,496	74.5%	4,533	72.7%	2,577	15.4%	1,133	18.2%	548	3.3%	95	1.5%	1,152	6.9%	478	7.7%
2020	3,243	63.2%	1,302	62.9%	883	17.2%	463	22.4%	558	10.9%	100	4.8%	448	8.7%	205	9.9%
2021	1,683	63.7%	556	63.8%	396	15.0%	186	21.3%	416	15.7%	75	8.6%	146	5.5%	55	6.3%